

1. 概要

国民健康保険事業は、制度創設以来、市民の医療の確保と健康維持に貢献してきたところである。

しかしながら、急速な少子高齢化の進展や経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など医療を取り巻く環境は大きく変化してきており、とりわけ低所得者や無職者層を多く抱えており、財政事情は厳しい状況が続いている。

このような状況の下、市民の医療の充実と向上を図ると共に、平成 19 年度においては、国保制度の運営にとっては極めて重要な年であり、収納対策並びに医療費適正化を特に重点事項とし、健全かつ適正な事業運営を行い、市民生活を支える重要な事業として、次の項目を重点項目としている。

(1) 事業運営の健全化

医療制度改革関連法においては、平成 20 年度からスタートする後期高齢者医療制度の諸準備、生活習慣病予防を中心とした医療費適正化の総合的な推進、また保険財政共同安定化事業など、新たな取り組みと併せ、事業運営の健全化に努める。

(2) 適用適正化の推進

国保運営の基本である適用の適正化については、事業運営に極めて重要であることから、退職被保険者等の的確な把握、早期適用を積極的に推進する。

(3) 保険税収入の確保

被保険者間の負担の公平を確保するため極めて重要であり、また算定の基礎となる所得については、的確な把握に努め、申告のない世帯及び保険税の軽減対象世帯等については、関係機関と連携を図る。

(4) 医療費の適正化

診療報酬明細書の内容点検の充実、医療費動向の的確な把握、疾病構造の分析を行い、適正受診に向けての被保険者への啓発など、必要な施策の推進に努める。

(5) 保健事業の推進

国保事業の円滑な運営を図るため、国保制度の趣旨、目的及び事業実態等について、広報誌や媒体を通じて周知を図る。

(6) その他

国保事業が適正かつ効率的に運営できるよう、事務処理体制及び処理方法に加え、必要に応じてその改善に努める。

1 総務費

1 総務管理費 1 一般管理費

[担当：国保年金課] P.57

7001 国保事務に要する経費 67,293,000 円 (66,268,000 円)

[その他 67,293,000 円]

* 特財積算根拠

[繰入金：職員給与費等繰入金 67,293,000 円]

国保制度全般に関する啓発

- ・啓発ちらし等の国保加入世帯への配布
- ・市広報誌、ホームページによる国保制度啓発記事の掲載
- ・口座による支払いのPR加入世帯へ配布
- ・退職国保該当者の通知

国保財政の健全化

- ・収納率向上特別対策事業の実施
- ・レセプト点検の充実・強化による医療費の適正化

保健事業の充実

- ・人間ドック、脳ドック、肺ドック助成の充実
- ・医療費通知の充実年6回(1年分の受診記録を加入全世界帯に通知)
- ・国保健康絵画小中学生コンクールの実施
- ・無受診健康優良世帯の表彰の実施(1年無受診、2年以上無受診)
- ・健康福祉まつりの実施
- ・関係課との連携により多受診等被保険者の個別訪問の実施

2. 歳入・歳出の状況

歳入歳出予算額は、10,297,157千円で、前年に比較して10.75%の増となった。

内容

歳入予算

(単位：千円)

区 分	平成 19 年度	平成 18 年度	前年度比(%)
国民健康保険税	4,256,984	4,097,365	103.90
国庫支出金	2,144,779	2,396,883	89.48
療養給付費交付金	2,078,253	1,749,521	118.79
県支出金	310,359	328,617	94.44
共同事業交付金	907,851	132,512	685.11
財産収入	3	3	100.00
繰入金	588,250	576,415	102.05
繰越金	2	2	100.00
諸収入	10,676	16,112	66.26
歳入合計	10,297,157	9,297,430	110.75

歳出予算

(単位：千円)

区 分	平成 19 年度	平成 18 年度	前年度比(%)
総務費	284,676	278,705	102.14
保険給付費	6,137,400	6,094,224	100.71
老人保健拠出金	1,830,404	1,949,484	93.89
介護納付金	1,043,909	712,200	146.58
共同事業拠出金	936,720	201,321	465.29

保健事業費	38,235	35,683	107.15
基金積立金	1	1	100.00
公債費	309	309	100.00
諸支出金	15,503	15,503	100.00
予備費	10,000	10,000	100.00
歳出合計	10,297,157	9,297,430	110.75

(1) 国保加入者の状況

(年間平均)(老人数は再掲)

区分	年度	平成 19 年度 (予算)	平成 18 年度 (見込)	平成 17 年度	前年度比(%)	
					18/17	19/18
国保加入世帯数		22,500 世帯	22,268 世帯	21,907 世帯	101.65	101.04
一般被保険者数		31,500 人	31,652 人	33,490 人	94.51	99.52
退職被保険者数		11,500 人	11,025 人	9,144 人	120.57	104.31
老人保健対象者数		7,500 人	7,759 人	8,105 人	95.73	96.66
合計被保険者数		43,000 人	42,677 人	42,634 人	100.10	100.76

(2) 保険給付費の状況

(単位：千円)

年度	療養給付費	高額療養費	老人保健 拠出金	出産育児一 時金・葬祭費	総計
平成 19 年度	5,551,500	510,000	1,830,404	75,000	7,966,904
平成 18 年度	5,498,724	525,600	1,949,484	69,000	8,042,808
平成 17 年度	5,184,810	507,892	1,846,606	85,550	7,624,858

(3) 1人当たりの医療費

(単位：円)

年度	一般	退職	一般+退職
平成 19 年度(予算)	148,958	213,913	170,000
平成 18 年度(見込)	155,560	258,723	188,133
平成 17 年度	145,730	236,224	169,695

2 徴税費 1 徴税総務費

[担当：納税課] P.60

7601 国保税徴収に要する経費 22,384,000 円(71,798,000 円)

[一財 22,384,000 円]

* 特財積算根拠

[繰入金：職員給与等繰入金 22,305,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担 79,000 円]

目的

国民健康保険税収納率向上のため、職員及び嘱託徴収員による徴収を行なっていく。また、本年度より嘱託員の報酬等の見直しを行い、時間割のほか臨戸訪問や口座引落申込件数に応じた報酬制度を加え、自主納付の向上を目指す。

内容

(1) 賦課状況

(平成18年度)

区分	所得割	平等割	均等割	課税
税率(医療分)	8.00%	20,000円	20,000円	3方式
税率(介護分)	1.00%	3,000円	6,000円	

(2) 国保税の収納状況(現年度)

(単位：千円)

年度	調定額	収納額	収納率(%)
平成18年度(見込)	3,535,500	3,317,000	93.82
平成17年度	3,377,202	3,018,536	89.38
平成16年度	2,519,519	2,179,038	86.49

(3) 徴収状況

年度	徴収額	嘱託徴収員数	1人当り徴収額
平成18年度(見込)	29,639,692円	5名	5,927,938円
平成17年度	38,529,722円	6名	6,421,620円
平成16年度	37,530,904円	5名	7,506,180円

6 保健事業費

1 保健事業費 1 保健衛生普及費

[担当：国保年金課] P.72

7601 健康優良家庭表彰に要する経費 4,858,000円(4,858,000円)

[その他 4,858,000円]

* 特財積算根拠

[繰入金：その他一般会計繰入金 4,858,000円]

目的

健康に対する住民意識の向上及び国保医療費に関する啓発を推進する。

内容

無受診の健康優良家庭に対し表彰を行い、取手市商工会及び取手市藤代商工会と提携し商工会加盟店で利用できる商品券を交付する。

1年間のみ無受診世帯 3,000円 × 700世帯

2年間以上無受診世帯 5,000円 × 380世帯

1 保健事業費 2 疾病予防費

[担当：国保年金課] P.72

7501 疾病の予防に要する経費 32,900,000 円 (29,925,000 円)

[一財 32,900,000 円]

目的

- ・国保加入者に対し、人間ドック・脳ドック及び肺ドックの受診に助成を行うことにより疾病の重症化を予防するとともに、自己の健康に対する啓発と医療費の節減につなげる。
- ・健康福祉まつりを開催し、小中学生健康絵画コンクール優秀作品の表彰や健康づくり講演会等を実施し、日常生活での健康に対する認識を深める。

内容

(1) 日帰り人間ドック(助成対象 40 歳以上・国保税の完納者)

1 人当り助成額 24,500 円 (自己負担額 12,250 円)

(2) 日帰り脳ドック(助成対象 40 歳以上・国保税の完納者)

1 人当り助成額 35,000 円 (自己負担額 17,500 円)

(3) 日帰り肺ドック(助成対象 40 歳以上・国保税の完納者)

1 人当り助成額 24,500 円 (自己負担額 12,250 円)

(単位：人)

医療機関名	人間ドック 受診者数	脳ドック 受診者数	肺ドック 受診者数
取手協同病院	534	103	
取手市医師会病院	300	49	10
会田記念リハビリテーション病院	0		
守谷慶友病院	10		
牛久愛和病院	64	6	
筑波記念病院	13	2	
筑波メディカルセンタ -	39	13	
霞ヶ浦成人病検診センタ -	1	1	
東取手病院	16		
藤代病院	16	5	
藤代中央クリニック	4		
鳥越クリニック	1	4	
計	998	183	10

(参考) 平成 18 年 1 月から 18 年 12 月までの受診者数